

## 高校文化祭で「自衛隊企画展」

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、10月30日（日）、私立浜松啓陽高校（浜松市）の文化祭「第7回松風祭」を支援した。

同文化祭は「昇走」をテーマに、書道体験、吹奏楽部や演劇部の公演、被災地復興支援の物産品販売等が行われ、学生や父兄、地域住民等で大いに賑わった。

浜北所は「自衛隊企画展」として校内の一角に広報ブースを展開し、自衛隊の中型トラック、活動写真のパネル展示や広報DVDの放映、自衛隊缶バッジ製作体験や迷彩服試着体験等を行った。

「自衛隊企画展」では、子供たちや高校生が迷彩服等を試着してトラックの運転席や荷台に乗り記念撮影をする等、大変な盛り上がりを見せた。また、静岡地本マスコットキャラクター「しずぼん」が校内に応援に駆けつけると、その愛くるしい風貌に周囲を多くの高校生や子供達が囲み、一緒に写真を撮る等人気者となっていた。

静岡地本は、今後も学生達に直接触れ合える機会を通じて若者に自衛隊の仕事や任務、募集制度等について理解を深めてもらうとともに、自衛官という職業を将来の職業選択の一つとして関心を持ってもらえるよう活動していく。



## 「予備自衛官補招集教育訓練」に3名が参加

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之1等陸佐）は、11月9日（水）から14日（月）にかけて陸上自衛隊武山駐屯地（横須賀市）で実施された「平成28年度予備自衛官補招集教育訓練（5日間）」に参加する予備自衛官補3名の支援を行った。

予備自衛官補として基礎となる基本教練の停止間や執銃時の動作等を習得する第1段階のAタイプ訓練に参加した岡田稜平予備自補と水野千史予備自補は、今年7月1日に予備自衛官補に採用され、今回が初めての訓練参加であった。最初は緊張した面持ちでぎこちない動作だったものの、教官から丁寧な指導を受けると、次第に自衛官らしい引き締まった表情やスムーズな動作が出来るようになり成長を感じさせた。

また、より実践的な技術等を習得するIタイプ訓練に参加した三土手公任予備自補は、終盤の厳しい戦闘訓練にも元気はつらつとした態度で臨み、無事に全訓練を終了した。その後11月21日（月）に見事予備自衛官へと正式に任命された。

静岡地本は、今後も予備自衛官補制度の普及に努めて理解促進を図るとともに、予備自衛官等の各種訓練等への参加支援を積極的に実施し、防衛基盤の充実に努めていく。

